

松ぼっくり

vol.17
2015 Summer



やわらかな風の中



医療法人 為進会

寿泉堂松南病院

松ぼっくり vol.17

CONTENTS

認知症について

寿泉堂松南病院 名誉院長
橋 隆一 1

松南だより

●看護研究発表会 2
●避難訓練に参加して 2
●医療安全管理全体研修 3
●救急蘇生法講習会 3

病棟だより

●認知症治療病棟のお花見ドライブ 4
●牡丹園ドライブ 4

栄養管理室だより

●日本の食文化、行事食について 5
「十五夜」

新入職員紹介 6

平成26年度表彰 7

寿泉堂松南病院の四季「春」「夏」

●院内行事お花見 8
●ディケア部活動紹介 生産部 8

外来診療のご案内 9

■ミニコラム 9
■編集後記 9



表紙【動物のマスコット】.....

入院患者さんのMさんが作業療法の一環で熱心に作りました。マスコットの可愛らしい表情に気持ちが穏やかになります。作者の人柄が現れた作品となりました。
(撮影 ディケア広報部)

●認知症について・

最近認知症の外来で、家族に付き添われたり、他科からの紹介で受診する患者さんが増えています。認知症が治らない病気ではなく、予防可能な病気であり、治療薬が増えてきたことが理由かと思います。そこで今回は認知症について話します。

1 認知症とは

「一度獲得された知能が、後天的、器質的な障害によって持続的に低下した状態」

(認知症の診断基準)

1. 記憶障害を認める。
2. 次のうち少なくとも一つある。

判断の障害

抽象的思考の障害

その他の高次皮質機能の障害

性格変化

3. 1, 2の障害により職業、日常社会生活、対人関係に支障をきたしている。

4. 意識障害がない。

5. 器質的因子の存在が証明される。

2 頻度

65歳以上では5%(20人に1人) 85歳以上では20%(5人に1人)

ちょっと長生きするとごく普通に見られる。

3 認知症の原因疾患

1. 脳の変性疾患

- アルツハイマー型認知症:脳の委縮(脳病理では老人斑、神経原線維変化)
 - ピック病、レビー小体型認知症など
- *薬物療法 ドネペジル(アリセプト)、ガランタミン(レミニール)、リバスチグミンパッチ(イクセロンパッチ)の3剤のいずれかとメマンチン(メマリー)を併用できる。3剤はいずれも認知症で低下するアセチルコリンを増加させる作用があり、メマン

チンは作用が異なる。ドネペジルはやや気分高揚作用があり、ガランタミン、メマンチンは興奮等を抑える作用があると言われる。

以前は治療が難しいとされたが、認知症の進行を約6か月間防ぐ作用を持つと考えられ、実際に使って効果がある。根本的には老人斑などの蛋白質を蓄積させない薬の開発が待たれるが、副作用が多く、まだ実用化されていない。

興奮などの問題行動が多いときは、抑肝散や非定型抗精神病薬の少量を使う。量は知識と経験による。

2. 脳血管性認知症(脳梗塞や脳出血の後遺症)

急性期には脳外科あるいは内科で対処する。

- 大、中梗塞型：心房細動などによる事が多い。
- 小梗塞型、虚血型：高血圧、糖尿病、喫煙、高脂血症などがリスクファクター

*薬物療法 脳循環改善薬などを使うが、高齢者では混合型(脳血管性+アルツハイマー型)も多い。その際はアルツハイマー型の薬も使う。

3. 正常圧水頭症(多くはクモ膜下出血後遺症)失禁、歩行障害、認知症が出現する。

4. 硬膜下血腫(多くは頭部打撲後)

3.4は脳外科で手術を行う。

5. その他脳腫瘍、外傷性、脳の炎症によるものがあるが頻度は低い。

当院で認知症が疑われた時にはHDS-R(長谷川式記憶力検査)と頭部CTあるいはMRIを行う。

4 症状

1. 基本症状

①記憶の障害

短期記憶(記録)および長期記憶の障害

早期には短期記憶のみが障害される。



寿泉堂松南病院
名誉院長
橘 隆一

②見当識障害(日時、場所、人)

自分の置かれている状況が認識できない。

③判断力、計算能力、抽象的思考など精神能力全般の低下

④性格変化

性格の先鋭化、抑制欠如、情動失禁、平板化、無関心、多幸的など
進行すると人格の崩壊。

2. BPSD(精神症状および問題行動)

①物とられ妄想、被害妄想(身近な家族へ向かいやすい)

②不眠、拒絶、興奮、介護への抵抗、暴力

③徘徊(空間的失見当識があり家に帰れない。 遠方に行ったり、事故にあったり、警察に保護されたり)

④不安、焦燥(夕方～夜に出現しやすい)

⑤不潔行為(失禁した衣類をタンスに隠したりする。自分で始末しようとして逆に周囲を汚染する。トイレがわからず放尿。進行した場合は排泄物をさわったり口に入れる)

⑥火の不始末(時には火事)

⑦夜間せん妄(身体的合併症があるとさらに出やすい)

⑧抑うつ(認知症の初期に出やすい)

⑨収集癖(意味のないものを集める)

⑩異食(食べられないものでも口に入る)

松南だより



看護研究発表会

平成27年2月、看護研究発表会が行われました。

当院では毎年、病棟ごとに看護研究を行い発表しています。今回は4題の発表がありました。

第1病棟は、「再入院防止に向けた自己対処法の効果～症状自己管理表を用いて～」 第2病棟は、「タッピングタッチ実施前後の気分の比較～POMS、GHQ、アンケートを用いて～」 第3病棟は、「長期入院患者の退院に対する意識調査～患者のインターから見えてきたこと～」 第5病棟は、「認知症高齢者における短時間昼寝による夜間の睡眠効果」の発表があり、根拠や実施方法、留意点、今後の継続性と課題、などについて質疑応答が交わされました。

今回の発表では、自己対処法、ストレス緩和、退院支援、QOL向上といった研究テーマで、各病棟とも退院・自立に向けた関わりを取り上げており、今後の看護に生かしていきたいと思います。

(教育委員会 桑名 学)



避難訓練に参加して

平成27年3月、病院全体で行った避難訓練に参加しました。一連を通して、スタッフ並びに患者さんがそれぞれ真剣に取り組んでおり、実際に火災が起きて避難しているかの様な緊張感を感じました。私は今回の避難訓練を通し学んだ事があります。

一つ目は、日頃より防災の知識を養っておく事はとても大事だという事です。避難経路や緊急時の対策、マニュアルの読み直し、心構えの構築等出来る限りの努力をする事により、緊急時に落ち着いた対応ができるのではないかと考えるからです。病院においては、スタッフは患者さんの誘導をしなくてはなりません。そのスタッフが動搖していた場合、患者さんにその動搖が伝わり更なるトラブルを引き起こす恐れがあります。私はそういった事がない様自らも努力をして行こうと感じました。

二つ目は、災害とは私達の日常生活、身近な所のあらゆる場面で存在しているという事です。私は、災害とは中々遭遇するものではなく、ましてや自分が災害に巻き込まれる等微塵も感じていませんでした。しかし、東日本大震災を機にその考え方は変わりました。放射能の恐怖、津波の恐ろしさ等自分の身近な場所で起きた様々な災害を目にし、天災の厳しさを痛感したからです。当院のある須賀川市や隣の郡山市には津波の心配はないかもしれません、内陸には内陸の災害の恐ろしさがあると思います。私はこの事から、何事も軽視せず真剣に取り組もうと考えます。火災等の災害時に限らず日常生活の中でも周囲との助け合いは欠かせません。日頃より周囲との協力体制を構築する事が災害と向き合う人間への課題なのだと感じました。



(第1病棟 佐藤 礼)

松南だより

医療安全管理全体研修

平成27年3月に職員を対象とした医療安全管理に対する全体研修が行われました。

今回の研修では①転倒・転落防止②誤薬防止③暴力防止を含むその他、の3グループからの発表が行われました。①の転倒・転落防止グループでは、入院中の患者さんの転倒や転落がどのような場所で、どのような時に起こりやすいか、日々の転倒転落の傾向についてそれぞれの事例を分析した結果の発表が行われました。②の誤薬防止グループでは、薬が処方されてから患者さんの手に渡るまでの流れや、その過程でどのようなミスが起こりやすいかの確認が行われ、各作業においてその都度確認する事の重要性についての発表が行われました。③の暴力防止を含むその他のグループでは、急変時の対応についての発表でした。入院中の患者さんだけではなく、ご家族や職員でも体調を崩し、急変する可能性は十分にあることから、急変時の対応を再度確認し、日頃からマニュアルに目を通しておくことや研修会への参加を行うことで、急変時に誰もが迅速に対応出来るようにする事の重要性を改めて感じることができました。



研修後には事例を通して様々なことを再確認できたことや、今後の業務へ生かしていきたいなどの感想が聞かれ、それぞれの職種でスキルアップできた研修内容であったと感じました。どの職種でもミスは起こり得ることだと思います。その為、事例から対策を検討し共有することで、少しでもミスが減らせるように、また大きな事故に繋がらないようにしていくことが大事であると感じた研修でした。

(医療相談室 リスクマネージャー 寺山 由莉)

救急蘇生法講習会

平成27年4月に毎年開催している心肺蘇生法の研修が行われました。福島病院付属看護学校から心肺蘇生と人工呼吸のシミュレーターをお借りし、全職員対象で看護師の橋本弘子さんと橋本千明さんの指導の下、胸骨圧迫心臓マッサージとAED(自動体外式除細動器)の実施手順のシミュレーションを行いました。

参加した職員は皆さん真剣に取り組み、研修後のアンケートでは「基本的な動作が再確認できた」「実践の場で役に立つ」などの声が聞かれました。

出来るはずは事故の元…定期的な研修が大切だと思いました。

緊急時に慌てることなく確実に適切な対応がとれるよう、この研修を生かしていきたいと思います。



(教育委員会 猪狩 直子)

病棟だより

認知症治療病棟のお花見ドライブ

毎年、春の桜の季節が来ると第5病棟ではお花見を兼ねたドライブを行っています。

今年の春は例年よりも早く暖かくなり、桜の開花も早くなりました。

ドライブのコースは主に須賀川市の翠ヶ丘公園や釈迦堂川などを回るのが定番で、4月は桜、5月に入ると釈迦堂川の鯉のぼりや須賀川市を代表する牡丹の花など様々な景色が見られます。

普段病棟内ではあまりお話しをされない患者さんや感情を表に出さない患者さんも、車内から景色を眺めると「きれいだねえ」と笑顔で話され、なかには「あれは○○という花だよ」と花の名前を詳しく教えて下さる患者さんもいらっしゃいます。

病棟内で生活されている患者さんにとって外に出るということは、良い気分転換の手段だと思います。今後も患者さんの気分転換のため、ドライブや散歩などの機会を設けていきたいと思います。

(リハビリテーション室 渋谷 真人)



牡丹園ドライブ

今年は例年より気温が高かったため、色々な春の花の開花時期が早かったようです。そのため、牡丹園では遅咲きの牡丹が一部楽しめました。その他シャクナゲやシャクヤクも咲いており、参加された患者さんから「久しぶりに牡丹を見ることができた。きれいだね‥」という言葉も聞かれました。今回は、普段外出が難しい車椅子の患者さんも数名参加され、天気も良く牡丹園の中を気持ちよく散策出来ました。色とりどりの花の前ではカメラを向けると笑顔を見てくれる患者さんが多く、病棟では見られないような笑顔が見ることができました。帰り道には近くのショッピングセンターにて休憩しました。各々が飲み物やアイスクリームなど好きな物を購入し、ゆっくりくつろぐことができたようです。

後日、参加した患者さんより「またドライブに行きたいね」「アイスはおいしかったな」など喜びの声もあり、この春の楽しい思い出の1ページになったのではないでしょうか。

(リハビリテーション室 村越 夕子)



栄養管理室だより

日本の食文化、行事食について 「十五夜」



前回から日本の食文化、行事食についての連載が始まりました。行事食は季節の節目節目に感謝やお祝いを表しています。今回は十五夜についてお話ししますが、十五夜の行事は豊作に感謝しある祝いする大切な節目でした。

十五夜の由来

“月見”という文化が始まったのは、今から1000年以前の平安時代です。当時は、貴族の“道楽”として、舟に乗り、池やお酒の杯に映った月を楽しんでいました。それが江戸時代に入ったころから庶民にも広まり、「作物が月の満ち欠けとともに成長する」ことから、「月=豊作の神様、縁起のいいもの」として捉えられ、「十五夜=秋の収穫に感謝する収穫祭」として親しまれるようになりました。旧暦を使用していた時代は1872年頃までで、月の満ち欠けによっておおよその農事を行っていました。満月は、豊穣の象徴で、旧暦では7月～9月が秋になり、8月は秋のちょうど真ん中で、8月15日の夜に出る満月をそう呼ぶようになりました。

●十五夜のお供え物(月見団子、秋に採れた野菜や果物、すすきや秋の草花)はどんな意味があるのでしょうか?

【月見団子】

穀物の収穫に感謝し、米を粉にして丸めて作ったのが始まりです。月に見たてた丸くて白い団子が一般的ですが、地域に根ざした様々な月見団子があります。供える団子の数は、通常は12個、閏年は13個が一般的です。

【里芋】

十五夜は「芋名月」とも言われ、里芋などの芋類の収穫を同時に祝う行事でもありました。そのため、里芋やさつまいもをお供えするようになりました。

【すすき】

すすきは稲穂に似ていることから飾り、すすき自体には魔除けの力があるとされ、お月見に供えたすすきは、月見が終わったあと家の軒に吊るしておくと、1年間病気をしないと言われ尊重されました。

十五夜よもやま話

【月うさぎ】

昔、飢えたおじいさんが、きつね・さる・うさぎに物乞いをしました。きつねとさるはそれぞれの力で食べ物を持ってきましたが、うさぎだけは、いくら頑張っても何も食べ物を持ってくることができませんでした。そこでうさぎは自分の身を火の中に投じ、おじいさんにささげました。そのうさぎの良心と誠実な心に感動したおじいさんはとても悲しみ、尊いうさぎを月の中に永遠に蘇らせ、お月さまの中に見えるうさぎになったというお話です。この飢えたおじいさんこそ帝釈天の化身でした。

【お月見どろぼう】

昭和中期ごろまでは各家々で十五夜を祝う習慣がありました。近所の子供達が供えてある供物を、その家人に見つからないように(見つけても見ない振り)捕って回り、その年の収穫を皆で祝う風習がありました。そういう古い風習は現代では殆ど見られませんが、代わりに西洋の同じような風習である「ハロウィン」が秋になると日本のブームになっています。不思議ですね。



(栄養管理室 深谷 直子)

新入職員紹介



医師 阿部 正幸

この4月に山形県から戻り勤務しています。松南病院は今回で2回目ですが、まだまだ不慣れです。幅広い視点で、包括的な医療が提供できるように努力して参りたいと思います。
よろしくお願ひいたします。



医師 松村 行雄

4月よりお世話になっております後期研修医の松村と申します。
患者様との接触する機会をなるべく多く取って、満足して頂けるよう心掛けていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



看護師 三瓶 みちよ

2月16日から3病棟で勤務しています。スタッフの方が一つ一つ丁寧に指導くださり素晴らしい病院だと感じました。私なりに精一杯吸収し、看護に生かしていきたいと思います。
よろしくお願ひいたします。



看護師 溝井 翔太

4月1日から第2病棟配属となりました溝井翔太です。知識や技術は未熟ですがこれからたくさんの経験を重ね日々学びを深めていきたいと思います。松南病院の看護師の一員として頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。



看護師 室井 友子

5月より第3病棟に勤務しています。
以前、当院で約9年間勤務していました。一日でも早く仕事に慣れ頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



看護補助 遠藤 えみ子

平成26年10月より第3病棟に配属になりました遠藤えみ子です。
患者様の心に寄り添い、あたたかい心で接していくよう頑張りたいと思いますので
よろしくお願ひいたします



看護補助 常松 ゆかり

このたび第2病棟に配属された常松ゆかりです。一生懸命頑張りたいと思いますので
どうぞよろしくお願ひいたします。



看護補助 井上 五月

このたび、3病棟に配属されました井上五月と申します。初めてのことばかりで皆様に
は何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしく
お願ひいたします。



平成26年度表彰

- 公衆衛生事業功労 知事感謝状受賞 院長 今泉 修一
- 福島県精神医療懇話会永年勤続表彰 熊田 幸子 伊藤 淑子 小野寺 有希
福島県精神科病院協会表彰

ホームページをより分かりやすく親しみやすく

こんにちは。皆さんこの松ぼっくりをホームページから閲覧出来ることはご存じでしたか?

「病院のご案内」のバーから「広報誌」をクリックすると、松ぼっくりを閲覧する事ができましたが、より多くの方に見てもらいたいと思い「広報誌(松ぼっくり)」と分かりやすく表示変更しました。ここを開いてもらうと、松ぼっくりの創刊号から最新号まで閲覧できます。創刊号は平成18年1月1日発行ですので、記事や写真など感慨深いものがあります。ぜひホームページからもご覧下さい。

(事務 中村 聰也)



四季

春
夏

寿泉堂松南病院の

Four Seasons



お花見

院内
行事

あいにくの雨でもお花見だんごは好評

お花見

今年のソメイヨシノの開花時期の気温は平年より寒く、開いた花の上に雪が積もることがありました。その分長い期間お花見が楽しめたのですが、今年の精神科のお花見の日は、あいにくの雷雨となってしまい、会場を屋外から第3病棟食堂に変更し行うこととなりました。

雨天時用に作っておいた桜のトリビアクイズや懐メロのイントロクイズで盛りあがったのち、須賀川の老舗菓子店から取り寄せた作りたての団子で会食しました。今年のお花見団子はゴマ、あん、みたらしの3種類を頂きました。初めてゴマの団子を食べたという方もいて、その香ばしさと甘さが多くの方に好評でした。

また、今回初めて行事でイントロクイズをしましたが、参加者の方々の反応の速さに、出題者や他の参加者から驚きの声や拍手が沸き起こっていました。

来年こそは桜の花を眺めながら団子を食べられたらしいとの声も聞かれました。

(レクリハビリ委員会 山本 剛三)



デイケア
部活動紹介

生産部

野菜栽培やグリーンカーテンも

当院デイケアには部活動があり、全員が何れかの部に所属するようになります。基本的にメンバーのみで運営しており、皆でミーティングをしながら活動内容を確認したり、協力し合って役割をこなしています。

そのような活動を通して、皆さん地域生活を送るために必要な社会生活力をつける訓練をしています。

現在、6つの部活動がありますが、その中の1つに生産部があります。手工芸品製作や農作物の栽培など、文字通り“生産”に関わることが活動内容となっています。今年も野菜類の生産を計画し、苗や肥料等の買い出しから作業まで、5月中は生産部の活動が活発でした。写真の通り、ベランダには数種類の野菜が栽培され、グリーンカーテンも作られています。6月に入って早速キュウリを2本収穫し、プチトマトも次々に実り始めました。随時、売店で販売もしますので、売店にお立ち寄りの際は、手工芸品と併せて採れたて新鮮野菜も是非ご注目ください!



(デイケア 石塚 誠)

外来診療のご案内

●寿泉堂松南病院

	月 mon	火 tue	水 wed	木 thu	金 fri	土 sat	日 sun
午前	阿部 正幸	大塚 健正	橋 隆一	今泉 修一	鈴木 志郎	橋 隆一	河野 創一 (完全予約制)
午後				休 診			休診

当院の外来診察時間は下記の通りです。

- 1.診療時間 午前9時～午後12時30分 午後は休診です。
- 2.受付時間 午前7時～正午まで(新患受付は午前11時30分まで)
- 3.日曜日・祝祭日は原則として休診いたします。

●デイケア

午前	松村 行雄	今泉 修一	松村 行雄	松村 行雄	松村 行雄		
午後							

●寿泉堂綜合病院 [心療内科・精神科]

	月 mon	火 tue	水 wed	木 thu	金 fri	土 sat	日 sun
午前	今泉 修一	担当 医	阿部 正幸	鈴木 志郎	橋 隆一	高野 佳寿子 (完全予約制)	休診
午後				休 診			

外来診察時間は下記の通りです。

- 1.診療時間 午前9時～午前11時30分 午後は休診です。 2.日曜日・祝祭日は休診いたします。

ミニ・コラム タヌキ出没

昨年の秋にデイケア棟脇の駐車場にタヌキが出没していました。毛がふさふさしていて、近寄っても逃げないかわいらしいタヌキでした。彼(勝手にオスだと思ってる)は無事に春を迎えたでしょうか?



編集後記

今年は当院の除染作業が行われました。中庭の芝生も新鮮に感じられます。また、今年の福島県の梅雨入りは観測史上最も遅かったとのことです。はたして今年の夏はどんな夏になるのでしょうか?

(広報委員一同)

医療法人 為進会 寿泉堂松南病院

理事長 湯浅 大郎

院長 今泉 修一

●診療科目 精神科・心療内科
※精神科デイケア併設
※訪問看護はご相談に応じ、実施しております

●住 所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田100番地
●電 話 0248-73-4181(代) ●FAX 0248-72-8133
●ホームページ <http://www.jusendo.or.jp/shn>
●病床数 215床(精神165床、認知症治療病棟50床)

グループホーム「パイン・フォレスト」

●住 所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田91番地
●電 話 0248-73-4182 ●FAX 0248-63-1185

グループホーム「サザーンホーム」

●住 所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字西山78番地

小規模作業所 「ショップしようなん」

●住 所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田100番地20
●電 話 0248-72-0201

公益財団法人 湯浅報恩会

●ホームページアドレス <http://www.jusendo.or.jp>

寿泉堂綜合病院 ●電話 024-932-6363(代)	寿泉堂香久山 居宅介護支援事業所 ●電話 024-932-6501
寿泉堂香久山病院 ●電話 024-932-6368(代)	寿泉堂香久山病院 通所リハビリテーション事業所 ●電話 024-932-6368
寿泉堂クリニック ●電話 024-939-4616(代)	いづみ訪問看護ステーション ●電話 024-921-5246

社会福祉法人 いづみ福祉会 介護老人福祉施設 スプリングガーデンあさか ●電話 024-937-3737	認知症高齢者グループホーム グループホームすぷりんぐ ●電話 024-937-3881
---	---